

ROTARY CLUB OF

**KANAZAWA-NORTH**



**金沢北ロータリークラブ**

例会日：木曜日 12:30～13:30

例会場：卯辰山・ホワイトハウス

事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所

TEL <0762> 63-1151

会長：岡田 林太郎 幹事：釣見 栄一

情報委員長：清水 忠

1978・2月23日 第109号



## えりもとの釦を一つはずそう

—— 服装のあれこれ ——

金城洋裁専門学校校長 田中 隆子さん

服装の移り変りはいつの世もその社会的背景と共に変化してきている。1960年代後半はたいへんエネルギッシュな時代で、活動的な服装が評価を受けていた。そして今1970代後半は物質文明、消費文化そのものを見直す必要性に気づき、新しい価値感の創造をめざしている時代である。

即、ロマンチックでエレガンスな忘れていた良さを指向するようになってきている。18世紀マリーアントワネット時代に流行したロココ調の華麗さがそれである。例えばベストやチョッキ等であろう。その背景はやはり石油ショックに端を発した世界的不況の中で、服装は重要な心のよりどころとして生きづいていくことになる。

逆にファッションビジネスとして成功していくには訴求対象のオリジナリティーを素材と価格に織り込むことが不可欠となってきている。個性の尊重が要因である。

一方「自分にはセンスがない」とこぼす方がよくいる。センスの良し悪しは無論先天的な要素も多いが、たとえば感受性がつよいとか何事にも興味をしめす御仁は充分後天的にセンスを磨く有資格者である。

そういう意味ではこの金沢のまちはいへん恵まれたまちであろう。環境の良さはもとより連日のように開かれている有名美術展で色彩感覚を培うことができる。「いいもの」を見る機会がきわめて多いまちである。

過日開かれた大手アパレル会社の今年のファッションのテーマは「えりもとの釦を一つはずそう」。個性の尊重を謳っている。

— 金沢北RC例会講話より — (文責 浅田豊久)

## 日中友好・金沢市各界訪中団に参加して (4)

——私の見た新中国の一断片——

柴田 三郎

### ◆私の印象に残った主なこと。

#### 1. 毛沢東思想万歳

政治に経済に産業に民生に教育にと、あらゆる面に毛沢東の革命思想と、樹立した路線、方針に、すべてを帰一すべし……という、新中国の国是であって、一人たりとも一事たりとも侵してはならない……。かつての日本の“天皇に帰一”、“一億一心”と同意語であろう。空港に、重要建築物に、学校に、道路に、デパートに、商店に、人の出入する至るところに大型のポスターや幕が掲げられている。

#### 2. 四人組追放の徹底

幼稚園、小学校を始め大学に、工場に、病院に、人民公社に、私共の訪れた先の管理者は必ず口を揃えて、4人組の罪悪を叫弾し、粉碎を強調していた。

#### 3. 毛沢東・華国鋒主席の肖像

人の集まる重要な場所には、必ず前・現両首席の肖像額が掲げられてあり、ところによっては、マルクス・エンゲルス・スターリン・レーニン・毛沢東など5人の肖像を並べて掲げられているものも見受けた。また、重要な場所には等身3倍大位の毛沢東の彫刻像が建てられている。

#### 4. 農業学大寨 (農業は大寨に学ぶ)

これも至るところに大きく扱っている。大寨は山西省、石家荘の近くの辺地にあり山村であったが、大寨人民公社は毛沢東思想を実践に移し、自力更生の精神を発揮し、模範的な農村を作り上げた。

#### 5. 工業学大慶 (工業は大慶に学ぶ)

“農業学大寨”と共に社会主義建設の合言葉となっている。大慶はハルピンの近くにあり、“大慶油田”で知られる。この油田は1960年、中ソ関係が悪化しソ連の経済援助が全面的に打ち切られた直後に発見された。石油供給をストップされることだっただけに、大油田発見の朗報に中国の喜びは大きく“大慶”と名称することになった。この油田により中国は自給自足が可能になったと言われる。

#### 6. 中ソの反目

今後どう変転するか国際情勢の行方は、到底私どもの予断を許さないが、只今は中国はソ連を憎んでいる。始め、レーニンが政権をとったとき、いち早く帝政時代にソ連が持っていた中国の利権を返したので、中国は「ソ連こそ本当の友人」と急速に親ソとなったが、今は冷戦。「北方領土は日本に返すべきである」と、私どもの一行を激励する声も幾度か聞いた。

#### 7. 道路と植樹と清掃と秩序

幹線は長大で、いたるところ道路の両側に並木が植樹されていて、日本の緑化などチャチで問題にならぬ位。街路にやゴミや煙草のスイガラを見ないし、蠅もいないようである。犬などペットもいない。ホテルの個室に鍵をかける必要はない程、中国人従業員には警戒不要らしく、彼等はボーイでなく服务员(公務員)でノーチップ。



北京郊外万里の長城、延々6,000キロに及ぶという。



ロータリーニュース

職場対抗卓球大会ごあんない

第二回の職業奉仕委員会の後半の行事と致しまして、下記の通り企画致しましたので、会員には日夜不況の世相の中で、職業奉仕に御努力されている時に、従業員(女子)・家族の皆様と一緒に気分転換の場として、プレーに、応援に、楽しい一日、有意義に過ごしたいと思いますので、奮って多数のご参加を願います。

日時 2月26日(日) 午後1時 集合  
" 1時30分 試合開始

場所 鳴和町城北体育館(鳴和中グランド横)

参加チーム

- 女子職員1チーム3名  
2チーム(A・B)まで参加出来ます。
- 家族チーム3名  
会員・奥様・家族又は女子職員。

参加費 1チーム 2,000円

\*ラケット各自持参。内履きスリッパ持参。

1977~78年R.I第261地区石川県第1分区

インターシティー・ゼネラル・

フォーラムごあんない

日時 3月12日(日) 11:30 登録受付  
12:00 昼食  
12:30 開会  
16:00 閉会

場所 加賀市片山津温泉  
ホテル「ながやま」TEL(07617)4-1141

登録料 3,000円

- テーマ
1. 国際奉仕について
    - a. ロータリー財団協力の効果ある方法
    - b. マッチドプログラムの進め方について
  2. ロータリー情報について
    - a. 新入会員教育(同化)の効果ある方法
    - b. ロータリー情報源と会員への伝達方法
- 特別出席義務者 会長・幹事・クラブ奉仕委員長  
国際奉仕委員長・修練委員長・昨年以降入会した会員。

次年度委員会編成 《1978~1979》

委員会	内容	委員長	副委員長	委員
社会奉仕	青少年・都市安全・自然保護 資源愛護・ロータリー梅林 その他社会奉仕全般	庄田	山上	笠間 沢田 米沢(修) 高田 小林 土原 東元
国際奉仕	ロータリー財団・米山記念奨学会 世界社会奉仕・交換学生	本江	塩村	俵 米沢(繁) 岡田 由井 越野 木島 飯野
職業奉仕	職業倫理の向上・従業員対策 四つのテスト ロータリアンの信条	上田	浅田	小杉(守) 加藤 佃 上 柴田 浅野 釣見
例会	出席・ニコニコ・会場監督	佃	二木	小林 出島 小杉(守) 平尾 庄田
拡大	会員選考・全員増強・職業分類	水野	吉田	中村 山岸 木島 俵
企画	プログラム・講話・クラブ細則	沢田	宗田	土原 大場 東元 増江
情報	会報・広報・雑誌・クラブ歴史 記録保存	清水	米沢(修)	桜井 加藤 水野 大村 岡部
親睦	会員の親睦・家族の親睦 スポンサークラブとの親睦	桜井	飯野	山上 松本 笠間 本江 益谷 浅野 米沢(繁) 由井 大村
修練	ロータリー情報・ターゲット ロータリー文献	山岸	大場	小杉(善) 高田 浅田 柴田 増江
友好	他クラブとの友好提携	平尾	釣見	吉田 中村 二木 岡部 塩村
地域開発	城北地区開発促進同盟	越野	出島	上田 岡田 宗田 清水 益谷

